

(件名) 創業塾「せと・しごと塾」の卒塾生が店舗をオープンします！

(資料の概要) 創業塾「せと・しごと塾」の卒塾生である牧幸佑（まきこうすけ）さんと南慎太郎（みなみしんたろう）さんが、6月7日（日）に店舗を開店し、併せてオープニングイベントと内覧会を開催します。

① 店舗概要

概要：陶芸用粘土と陶芸道具を販売するショップと誰でも陶芸を楽しめるスペースが融合した、新しい「粘土ショップ&陶芸スペース」です。

店舗名：CONERU nendo shop & space（運営会社：合同会社丸仙商店）

住所：瀬戸市朝日町28番地

電話番号：0561-57-1654

メール：info@coneru.co.jp

営業時間：午前10時～午後6時（定休日：火曜、水曜、年末年始）

HP：https://www.coneru.co.jp/

② オープニングイベント概要

概要：オープニングイベントとして、窯出し式典を実施します。店舗の電気窯で初めて焼いた陶磁器を窯から出す様子をご覧いただけます。式典後、店舗の内覧会を実施します。

開催日：6月7日（日）午前10時～午前11時

開催場所：CONERU nendo shop & space 店舗前

<当日スケジュール>

午前10時～ 窯出し式典

午前10時20分～ 内覧会、質疑応答

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、関係者及び報道機関の皆さまを対象としたイベントとします。

■参考：せと・しごと塾について

「せと・しごと塾」は、地域の課題解決に向け「地域ビジネス」での創業を目指す方に対し、知識や実務を学んでいただく創業塾です。213名が卒塾され、そのうち122名が開業し活躍されています。（令和2年5月29日現在）

資料の公表日	令和2年6月1日（月）	添付資料	有
担当課名	ものづくり商業振興課	写真	無
担当者職氏名	商業金融係 主事 井上 沙英	図面	無
問い合わせ先	0561-88-2652	イラスト	無

枯渇の危機「瀬戸の粘土」を救いたい！陶磁器で有名な瀬戸市に、新感覚の「粘土ショップ & 陶芸スペース」がオープン！

合同会社丸仙商店（代表：牧 幸佑）は、2020年6月7日（日）に愛知県瀬戸市朝日町で『粘土ショップ&陶芸スペース』をオープンし、当日 10:00 よりオープニングイベントと内覧会を開催します。



店舗外観



CONERU
NENDO shop & space

ブランドロゴマーク

コネル ネンドショップ アンド スペース
合同会社丸仙商店が愛知県瀬戸市にオープンする **CONERU nendo shop & space**（以下、CONERU）は、陶芸用粘土と陶芸道具を販売するショップと、誰でも陶芸を楽しめるスペースが融合した、新しい「粘土ショップ&陶芸スペース」です。

オープンの経緯

愛知県瀬戸市は、陶磁器の産地として 1000 年以上の歴史があります。良質な粘土が採取できることから、この地で陶磁器の文化が栄えてきました。しかし、昨今では粘土を採取できる鉱山が少なくなってきたおり、**あと数年で瀬戸市では粘土が採取できなくなる**といわれています。

そこで、同社の代表を務める牧 幸佑は、枯渇の危機にある粘土を救うべく、家業であり瀬戸市で 70 年以上続く窯業原料メーカーで働く傍ら、地元の創業塾（せと・しごと塾）に通い、粘土のブランド価値向上を目指した新規ビジネスを計画。今回の粘土ショップの立ち上げに至りました。

なお、この事業は中小企業庁主催の全国ビジネスプランコンテスト（Japan Business Gate 2020）でファイナリスト 8 組に選出されています。

CONERU のミッション

「陶芸をもっと身近に」。これが CONERU のミッションです。初心者もプロも、大人も子どもも関係なく、気軽に粘土に触れられる場所を提供していきます。

CONERU の 3 つの事業

【事業 1】陶芸用粘土の販売

陶器や磁器の原料となる陶芸用粘土の販売をおこないます。一般的に、陶芸用粘土はプロの陶芸家や陶磁器メーカーが使用することが多く、1 ロット 20kg 以上の大容量で販売している店がほとんどでした。しかし、最近では陶磁器のアクセサリや小物を制作するアマチュアの方が増えており、もっと少ない容量から粘土を購入したいという要望が多数寄せられていました。そこで CONERU では、1 ロット 1kg から粘土を販売し、このような新しいニーズに応えていきます。

また、新型コロナウイルスの影響により自宅で過ごす時間が増えていることから、家庭のオープンで陶器を作ることができる特殊な「オープン陶芸粘土」の取り扱いも開始。店舗のオープンに先駆け、自社のインターネット販売サイトで販売しております。



オープン陶芸粘土

【事業 2】陶芸スペースの運営

① 陶芸体験ワークショップ

初心者から経験者まで、誰でも陶芸を楽しめる体験メニューを用意します。CONERU 独自の体験メニューとして一般的な陶芸体験ではおこなわないような、**釉薬を自分で調合して好みの色を作る体験**や、**自作のアクセサリをフリーマーケットで販売するところまでをレクチャー**するなど、現代のニーズに合わせた新しい体験を展開していきます。

② シェア陶芸スペース（2020 年秋ごろを予定）

陶芸を趣味として日常的に楽しみたい人や、陶芸家を志す人に向け、CONERU の**陶芸道具と作業スペースを自由に使える会員制の「シェア陶芸スペース事業」**をおこないます。月額 3,980 円で何度でも来店可能。会員には専用の物置スペースを貸与。陶芸用の粘土と釉薬を会員価格で購入し、作業スペースで使用できます。電動ろくろのレンタルと電気窯での焼成代は別料金。詳細は近日中にウェブサイトで公表。



陶芸スペース（店内）

【事業 3】産地ツアーの企画と運営

陶磁器の産地をまるごと体験できるツアーを企画し、運営していきます。陶芸体験ができるツアーはすでに多くありますが、CONERU は産地の特長を生かし、粘土が採取される鉱山の見学からスタートし、粘土の製造工場や窯元（陶芸家）の見学、もちろん陶芸体験まで、産地をまるごと体験できるツアーを展開していく予定です。（2020 年秋ごろを予定）

CONERU の特長

【特長 1】お店の前に、本物の電気窯が！

商店街に面した店舗前に、陶磁器を焼成するための電気窯を設置しました。一般的な陶磁器の焼成（温度 1200℃以上）を可能とする本物の電気窯です。



陶磁器用の本格「電気窯」

【特長 2】まるでカフェのような店舗！

女性やお子さまでも気軽に入れるように、おしゃれなカフェのような内外装を目指しました。従来、ちょっと入りづらい雰囲気があった陶芸工房のイメージを払拭し、明るく清潔な空間に。陶芸を身近に、という CONERU のミッションを体現した店舗となっています。



明るく清潔感のある店内

【特長 3】粘土を楽しく選べる！

従来の陶芸用粘土は倉庫に大量の在庫が保管されており、その場所で粘土を選んで購入するスタイルが一般的でした。CONERU では、ケーキ屋さんのようなショーケースに粘土を並べ、楽しく、わかりやすく粘土を選べるようにしました。



楽しく粘土を選べます

店舗データ CONERU nendo shop & space

【住所】〒489-0043 愛知県瀬戸市朝日町 28 番地 【電話】 0561-57-1654

【定休日】 火曜日、水曜日、年末年始 【営業時間】 10:00 ~ 18:00

－ オープニングイベント －

2020年6月7日(日) 午前10:00

愛知県瀬戸市朝日町28 銀座通り商店街内 店舗前

オープニングイベントとして、午前10時より「窯出し式典」を実施します。CONERUの電気窯で初めて焼いた陶磁器を、窯から出す様子をご覧ください。その後、店舗の内覧会を実施する予定です。

事前連絡は不要ですので、ぜひ取材にお越しください。

◆当日のスケジュール

10:00 (受付 9:30)	窯出し式典	場所: 店舗前
10:20 ~ 11:00	内覧会、質疑応答	場所: 店舗内

◆アクセス

・電車の場合

名鉄瀬戸線 尾張瀬戸駅より、徒歩5分 (350m)

・お車の場合

「瀬戸蔵」駐車場をご利用ください (最初の1時間無料、その後100円/h) 徒歩2分 (150m)



◎お問い合わせ先

合同会社丸仙商店 代表: 牧 幸佑 住所: 愛知県瀬戸市朝日町28番地

携帯: 090-9916-2927 メール: info@coneru.co.jp WEB: www.coneru.co.jp